

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (05-01)

団体名	(特非)友之会	代表者名	理事長 阿部 佳代子
事業名	おともだちプラス交流プロジェクト事業 (3年目 ネットワークを広げよう!編)		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
4/4~2/27 毎月曜日	就労支援施設 ぽこあぽこ	500 (96)	就労継続支援B型事業所「ぽこあぽこ」：野菜搬送・販売補助 NPO法人「蓼の会ぐりんどあ」米搬送
4/10~2/12 月1回	兵庫県福祉センター	330 (55)	木の芽家族会(精神障がい者家族会)：野菜の搬送・販売
4月 3日	丹波篠山市	8 (5)	夏野菜の植え付け、水やり、草むしり等、後に古民家利用
5月15日	丹波篠山市	15 (6)	夏野菜の植え付け、水やり、草むしり等、後に古民家利用
29日	丹波篠山茅葺 古民家	25 (5)	神戸女学院大学宮脇ゼミ中元講師より講義、後に古民家利用
6月4.5日	南あわじ市	13 (4)	玉ねぎの収穫体験： 賛同者、農業に興味ある若者、就労施設利用者等
7月17日	丹波篠山茅葺 古民家	10 (4)	夏野菜の収穫体験、後に古民家利用
9月19日	丹波篠山市	12 (2)	山椒取り体験：賛同者、地元高齢者、農業に興味ある若者等
10月 8日	丹波篠山茅葺 古民家	12 (3)	黒枝豆の収穫体験：賛同者、就労施設利用者等
14.15日	丹波篠山茅葺 古民家	26 (2)	黒枝豆の収穫体験：西宮身体障がい者協議会、賛同者等
21日	丹波篠山茅葺 古民家	10 (1)	黒枝豆の収穫体験：就労支援施設コングラム、賛同者等
23日	丹波篠山茅葺 古民家	93 (6)	黒枝豆の収穫体験：木の芽家族会、幸地クリニック、ぽこあぽこ 神戸女学院、社会福祉協議会、賛同者、地元高齢者等(2か所)
29日	丹波篠山茅葺 古民家	27 (6)	黒枝豆の収穫体験：立花産業、地元高齢者等
1月 8日	兵庫県福祉センター	100 (8)	新春ふれあい交流会 落語家露の団六氏招へい

<効果と成果>

継続していた野菜販売からの口コミで、既存の消費地域の障がい者、障がい者家族・支援者・子育て世代の上に今回は、大学、一般企業にも賛同いただき、大いにネットワークを広げることが出来た。

生きずらさを感じている参加者には農作業を通して人とつながりやすい（自分らしくできる）環境を、子育て世代には都市部では経験できない大自然の学びを提供することができた。高齢生産者には重労働の軽減、人手不足の解消にもつながった。

大学生向けには、専門分野（精神保健福祉）を学ぶ場やボランティア体験の提供、企業向けにはメンタルヘルスや福利厚生として癒しの場を提供ができることが分かった。

生産高齢者の生きがいづくり、引きこもりがちな方の社会（地域）参加のきっかけをつくり、それぞれの参加者が農村部へ興味も持ち、農業体験、茅葺古民家を中心に生産地域と消費地域の交流を幅広い世代に広げることができた。

<今後の展望>

継続しているが為、参加者が増えることで責任所在（受付窓口）や役割分担があいまいになってしまい、情報周知、伝達方法に課題を残すことになった。

今後は連絡網を整えながら、タイムリーに情報共有するよう努めたい。

高齢者の生きがいづくり（健康維持・介護予防）、障がい者（引きこもり・躁鬱・ゲームやアルコール依存）の社会参加のきっかけづくり、子育て世代の自然とのふれあいづくりを継続しながら、学校関連、企業関連にもこの活動を周知いただき、「こころ元気にする里山（学校）」として利用してもらえるように取り組みを続けていきたい。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	450,000
自己資金	247,075
事業収入	356,000
合計	1,053,075

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金 (円)
直接 経 費	旅費交通費	307,000	100,000
	謝金・人件費	475,600	210,000
	車両費（バス賃借料）	172,360	100,000
	その他（消耗品等）	79,186	30,000
	小 計	1,034,146	440,000
間接経費（一般管理費）		18,929	10,000
合 計		1,053,075	450,000